



別添3 ワークショップ後のアンケート分析結果

(公財)ケア・インターナショナル ジャパン

調査背景と目的

● 背景・目的

- 当財団は平成25年度外務省NGO研究会の「ジェンダーとNGO」の業務委託を受けた。この研究会では、ジェンダー主流化に向けた日本のNGOの能力強化と連携体制の強化を行い、能力の育成により、日本のNGOがジェンダーを理解し、実践できるようになることを目指す。
- その最初の取り組みとして、ジェンダーに詳しい専門家及び実務者を講師に招き、NGO実務者を対象としたワークショップを7月以降東京、名古屋、大阪、福岡で開催する。このワークショップの講義および演習をもとに、NGO実務者の実践に役立つ実用的参考資料「ジェンダーハンドブック」を作成する。
- 4ヶ所で実施されるワークショップの受講者に、今回の研修に関する事後アンケート調査を実施した。この結果から、研修の受容のされ方を把握し、今後の課題を明らかにしていく。但し、東京以外の参加者は少なく分析に必要な有効数ではなかったため、東京のみを分析している。



調査概要

調査方法	自記入式アンケート調査
回答対象者	ジェンダーワークショップの受講者
回答日	2013年7月18日(東京)
回答票数	受講者21名から17票(東京)



3

調査結果サマリー



4

調査結果サマリー①

東京開催のワークショップには21名が参加し、8割にあたる17名が当ワークショップのフィードバックに回答した。その結果、主に以下の5点が重要事項としてあげられる。

●ジェンダー主流化にかかる知識/情報を提供するという点ではそれなりに貢献ができた。

- 全般的な感想として、本ワークショップに非常に満足したかやや満足したとの回答者は94% (16名)であり、ジェンダーに関して非常に学べたかやや学べたとの回答者も94% (16名)であった。本結果から、当ワークショップを通じて、ジェンダー主流化にかかる知識/情報を参加者に提供することがある程度のレベルで達成できたといえる。

●ワークショップで取り扱う内容の実用性・具体性をより高めるための見直しが必要。

- 一方で、ワークショップで取り扱われた内容の実用性・具体性については改善を求める声もあった。回答者からは、もっと具体性のあるODA及びNGOの事業の事例紹介、事業の運営管理面におけるジェンダー主流化の手法、フレームワークの結果をいかに事業立案/実施/モニタリングで反映していくかの方法説明、それが分かる事例の紹介を求める声があった。



5

調査結果サマリー②

●内容を考慮した時間配分が必要。

- 内容に対して時間が短い、ジェンダー分析フレームワークの実用性があっても演習する時間が短かったという回答が多かった。東日本大震災にかかる事例もより多く知りたかったという声もあった。

●演習時間がより確保されたワークショップ/対象者(基礎・上級)等で分けたワークショップ開催の提案

- 今後の提案としてあげられたコメントで主なものは、もっと演習ができて、具体的事例が学べるワークショップの開催、概論と演習で時間を分けること、定期的な基礎・上級に対象者を分けたワークショップの開催を提案する声もあった。

●ワークショップの運営管理(時間管理・会場管理等)にかかる提案

- 会場レイアウトの改善、資料配布方式の改善(クイズ以外は講師の説明前に資料を配布する方が好ましい)、第2部の講義時間が予定よりかなり遅れたが、そういったことが発生しないよう時間管理の向上、集合時間を早めるなどの工夫が求められた。なお、参加申込の受付返答の方法の改善も求められた。



6

調査結果から今後の活動への示唆

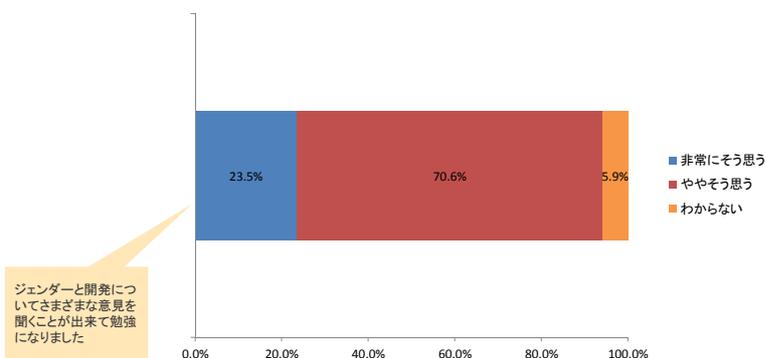
当研究会としては、以上のフィードバックの結果をよく検討して、今後地方で開催するワークショップの内容を再度検討し、会場レイアウト・資料配布方式等の運営管理における配慮もより改善していきたいと考える。本研究会で発行するハンドブックを作成する際にも、ワークショップ参加者の皆さんの声を反映するように努力していく予定である。また、より実用的な内容の学習機会を求める声、基礎/上級と対象者を分けた上でよりニーズに沿った内容を求める声があることも十分考慮し、本研究会として追加の研修を提供するか、もしくは他関係機関(JICA、FASID等のNGOへ研修を提供している機関)との連携の上でのジェンダー主流化に係る更なる研修機会の提供ができるように努めていく。



7

ワークショップの全般的満足度

回答者の94.1%はワークショップ全般について満足のいく内容であったと思っている。



ジェンダーと開発についてさまざまな意見を聞くことが出来て勉強になりました

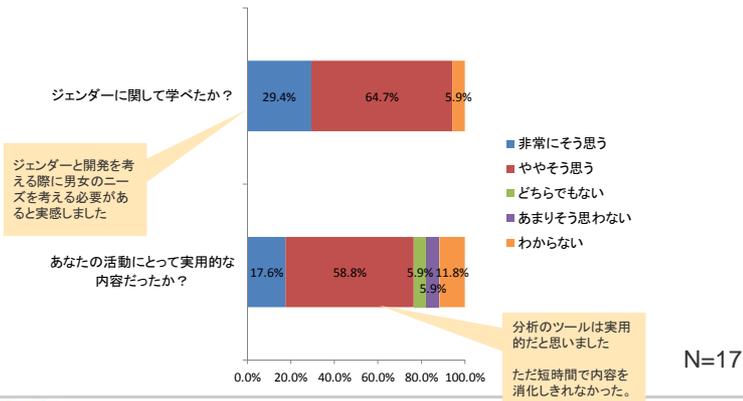
N=17



8

ワークショップでのジェンダーについての習得度と 実用度

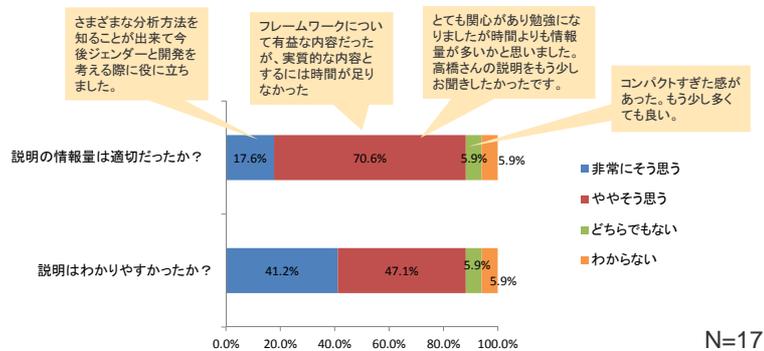
回答者の94.1%はジェンダーに関して学べたと回答し、76.4%は実用的内容であったと回答した。一部の回答者は実用的でないと感じている。



9

ワークショップの講師に関するフィードバック

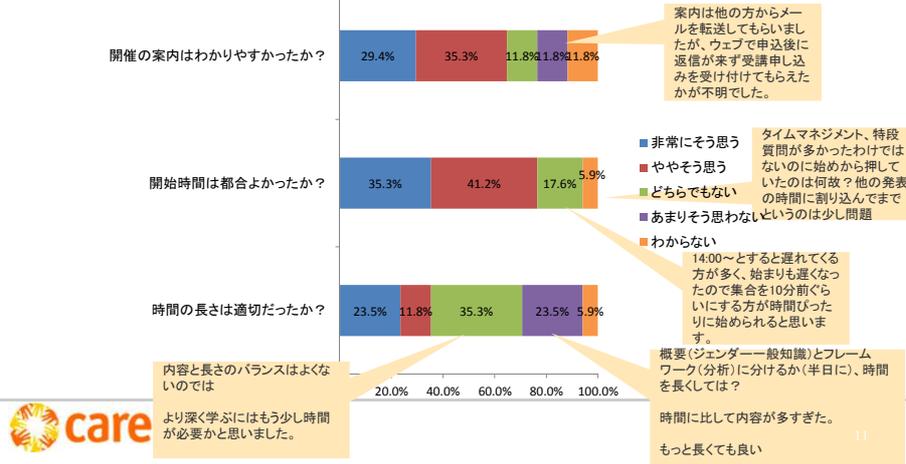
回答者の88.2%は講師の説明の情報量が適切であったと回答し、88.3%は講師の説明はわかりやすかったと回答した。一部の回答者は内容量に対して時間が短かったとコメントしている。



10

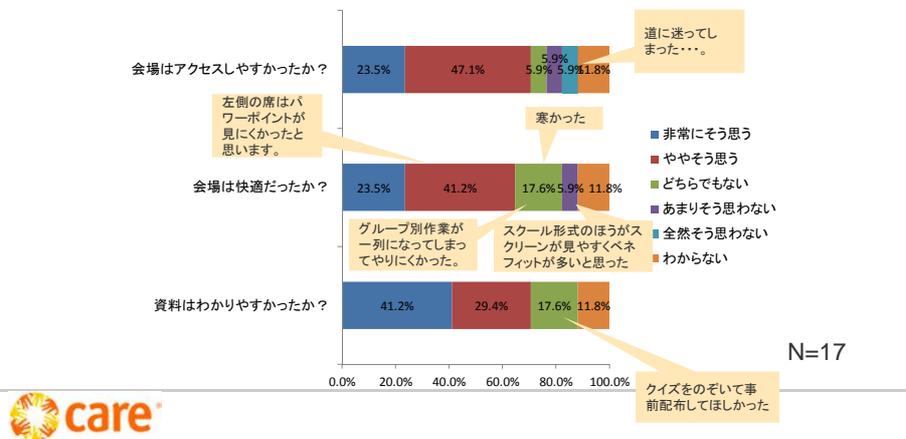
ワークショップのスケジュール関連についてのフィードバック

回答者の64.7%は開催の案内はわかりやすかったと回答し、76.5%は開始時間が都合良かったと回答した。時間の長さについては、35.3%の回答者が適切であったと回答しているが、23.5%の回答者が適切ではないと回答している。



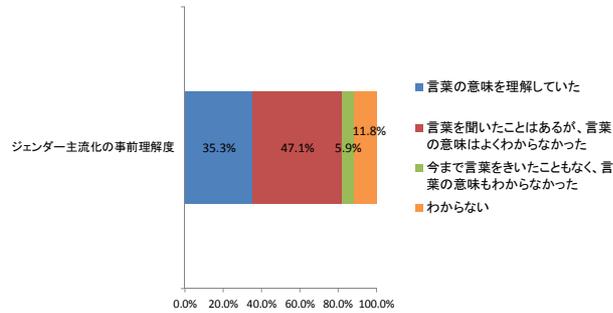
ワークショップの会場や資料についてのフィードバック

回答者の70.6%は会場がアクセスしやすかったと回答し、64.7%は会場が快適であったと回答した。資料については、回答者の70.6%がわかりやすかったと回答した。



ジェンダー主流化についての事前理解度

回答者の35.3%はワークショップ前から主流化について理解していた。64.7%の回答者は意味を十分に理解していない状態でワークショップに参加した。



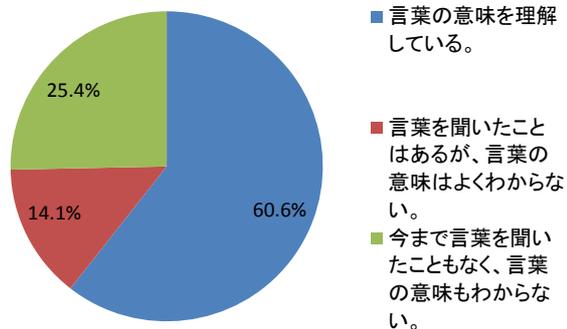
N=17



13

<参考>ジェンダー主流化の認知度

前回のアンケート調査結果では回答者の60.6%は意味を理解している。今回のワークショップの受講者の理解度はこちらと比較すると相対的に低いと言える。



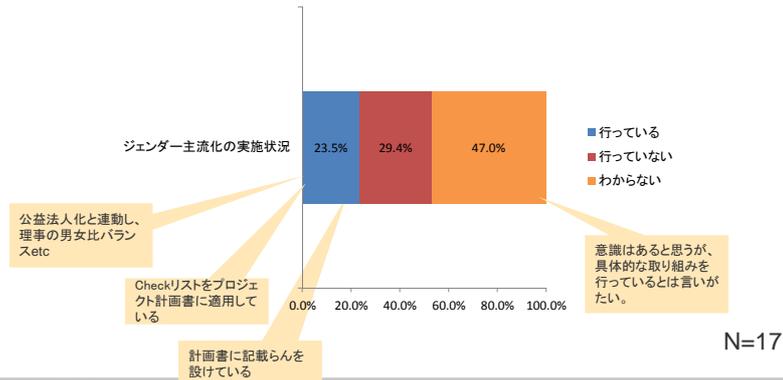
N=71



14

所属する団体のジェンダー主流化実施度

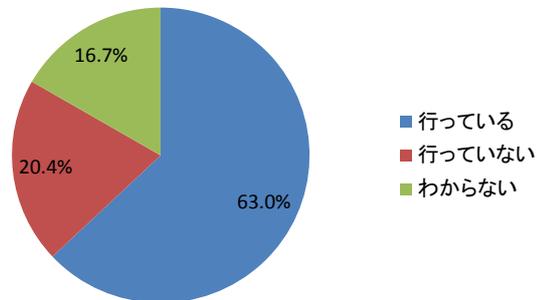
回答者の23.5%は所属する団体がジェンダー主流化を実施していると回答した。



15

<参考> ジェンダー主流化の実施状況

前回のアンケート調査結果ではQ11でジェンダー主流化を少なくとも聞いたことがあると回答した者の所属する団体の63%はジェンダー主流化を実施していると回答した。こちらの結果と比較すると、今回の受講者の所属する団体の実施状況は相対的に低いと言える。



N=67



16

今回のワークショップについてのコメント

よかったと回答するコメントが半分くらいみられるが、時間不足や実用的具体的事例を取り上げて欲しかったとするコメントも寄せられている。

大変参考になりました
時間が不足で残念でした
興味深いワークショップありがとうございました。分析手法の部分がNGO歴が長い私には難しかったですが、これから自分でも勉強していこうと思います。ちょっと時間が短く手でした残念でした。
とても勉強になりました。ジェンダーの基礎知識から、実際の東日本大震災の事例も興味深かったです。次回もぜひ参加させていただきたいです。ありがとうございました。
特にありません。良い勉強になりました。フレームワークをプロジェクト立案・モニタリング等に活用したいと思います。
事業に関してもう少し具体的な事例(特にODA事業等、NGOの支援において)を聞ければよかった。特に講師がどのように実際の事業の中でジェンダーの視点を取り入れているのかについて聞きたかった。

N=6



17

今後のワークショップについての提案

実践的な活用方法や具体的な事例などへの提案などが寄せられた。
また、受講者のレベル別に開催してほしいとする意見も寄せられた。

ジェンダー主流化における民間連携(ビジネスとしてどう促進するか)について、事例をもとにお話を伺ってみたいです。
案内に「ジェンダーハンドブックの作成」と拝見していましたが、次回もぜひ実際に作成したりおしえていただければ嬉しいいです。また、具体的なジェンダー調査の事例をもっと聞きたいです。
事業運営面でのジェンダー主流化についてももっと教わりたいたいです。
定期的に、また基礎・上級等レベルに分けて開催してもらいたい。
フレームワーク等で分析したものを、どのように実際のプロジェクトにつなげていくのか

N=5



18

Appendix



Appendix – アンケート票①

ジェンダーワークショップについてのアンケート

本日は、ジェンダーワークショップにご参加いただきましてありがとうございました。
 今後の参考のため、以下のアンケートにご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

受講者お名前 所属団体

Q1. 以下の各設問に対して、あなたの最も近いご感想の欄に○を一つつけてください。

	非常に 思う。	ややそ う思う。	どちら でもな い。	あまり そう思 わない。	全然 そう思 わない。	その他。 (コメントがあれば記載ください)。
今回のワークシ ョップ全般につ いて満足いく 内容だったと思 いますか？						
あなたは今回の ワークショップ で、ジェンダー に関して学ぶこ とができました か？						



Appendix – アンケート票②

今回のワークショップの内容はあなたの活動にとって実用的だと思いましたか？	<input type="radio"/>					
講師および発表者の説明は適切な情報量でしたか？	<input type="radio"/>					
講師および発表者の説明は分かり易かったですか？	<input type="radio"/>					
ワークショップ開催の案内はわかりやすかったですか？	<input type="radio"/>					
ワークショップの開始時間はちょうど良かったですか？	<input type="radio"/>					
ワークショップの時間（長さ）はちょうど良かったですか？	<input type="radio"/>					



© 2005, CARE USA. All rights reserved.

21

Appendix – アンケート票③

会場はアクセスしやすかったですか？	<input type="radio"/>					
会場は快適でしたか？	<input type="radio"/>					
配布した資料はわかりやすかったですか？	<input type="radio"/>					

Q5 あなたは今回のワークショップを受講される前、'ジェンダー主流化'に関してどの程度ご存じでしたか？該当する項目を一つ選択し、○をつけてください。

- a 言葉の意味を理解していた。
- b 言葉を聞いたことはあるが、言葉の意味はよくわからなかった。
- c 今まで言葉を聞いたこともなく、言葉の意味もわからなかった。



© 2005, CARE USA. All rights reserved.

Appendix – アンケート票④

Q6 あなたの所属する団体ではジェンダー主流化を行っていますか。該当する項目を1つ選択し、○をつけてください。

- a 行っている => 行っている場合、下欄に具体的な活動内容をお答えください。
- b 行っていない
- c わからない

Q7 その他、今回のワークショップに関して、何かお気づきの点、ご意見など、ご自由にお書きください。



© 2005, CARE USA. All rights reserved.

23

Appendix – アンケート票⑤

Q8 今後のジェンダー関連のワークショップや研修などで、取り上げてもらいたい内容があれば、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



© 2005, CARE USA. All rights reserved.

24